

連携中枢都市宣言書

2015年(平成27年)2月24日

福山市

連携中枢都市宣言

福山市は、人口約47万人、広島県東部と岡山県西部の県境に位置し、自然災害が比較的少なく、活力ある産業の集積や、海・山など豊かな自然にも恵まれ、四季折々に多彩な魅力がある、非常に暮らしやすい備後の中核都市である。

本市が今、広域連携を進めている備後圏域は、広島県三原市・尾道市・福山市・府中市・世羅町・神石高原町、岡山県笠岡市・井原市の6市2町で構成される広島県と岡山県の県境をまたぐ特徴的な都市圏であり、圏域全体の人口は、約87万人と政令指定都市規模の人口集積がある。圏域の自治体の大部分は、昭和の高度成長の時代に「備後地区工業整備特別地域」に指定され、日本経済を支える工業地域としての発展の礎を築くなど、住民の日常生活のみならず、経済的な結び付きも強い地域である。

このような地理的・歴史的な結びつきを背景に、2011年度（平成23年度）には圏域の6市2町の市長・町長で組織する「備後圏域連携協議会」を立ち上げ、人口減少社会の到来を踏まえる中で、広域的な課題解決に向けた取組を開始した。こども発達支援センターの共同運営や防災協定の締結など、県境を越えた広域連携として、着実に成果をあげている。

こうした中、全国的な人口減少の進行などを背景に、国から新たな広域連携として、連携中枢都市圏構想が示された。この構想は、地域の人々の暮らしを支え、経済をけん引していくのにふさわしい核となる都市（連携中枢都市）を形成し、その連携中枢都市を中心に地域の魅力を高め、活性化を図ることを目的としている。まさに、これまでの備後圏域連携協議会の取組の方向性と合致し、本圏域の広域連携の更なる発展に向け、大きな後押しとなるものである。

今、備後圏域は、人口減少の危機に直面している。出生数の減少に加え、大都市圏等への人口流出が続いており、特に山間部においては、その減少度合いが加速している。2013年（平成25年）には、圏域の核であり、人口のダム機能の役割を果たしている本市においても、初めて人口の自然減と社会減が重なり、圏域の人口減少は今後、加速度を増すことが懸念されている。人口減少は、単に人が減るだけではなく、生産年齢人口の減少など、人口構造にも変化を及ぼすものであり、税収の減少や地域経済の成長力の低下、社会基盤・生活基盤の脆弱化など行政運営や経済に大きな影響を与える。

人口は、都市や地域の活力の源である。活力ある地域づくりのためには、出生数の増加に努めるとともに、人口流出に歯止めをかけていかなければならない。

本圏域には、

- 中国地方における交通・物流機能の拠点
- ものづくり産業を中心とする中国・四国地方の経済の要衝
- 全国を代表する観光資源やスポーツ資源
- 里山・里海から獲れる多様な農林水産物

など、多彩なポテンシャルがある。本市は、これらを最大限に生かす中で、「ものづくり産業」の更なる発展に加え、地方の特色である第一次産業の活性化や観光振興など、今後、成長が期待される分野を強化するとともに、地域経済・社会を支える人材育成、全ての子どもたちが、いきいきと学び、健やかに成長できる環境整備などにも広域で取り組んで参りたい。「戦略と知恵」、これによって発展する地域と衰退する地域が、今後より鮮明になる。このため、備後圏域らしさを全面に打ち出せるよう、本市は大胆な政策立案とそれを実行につなげるための攻めと調整の機能を担っていく所存である。

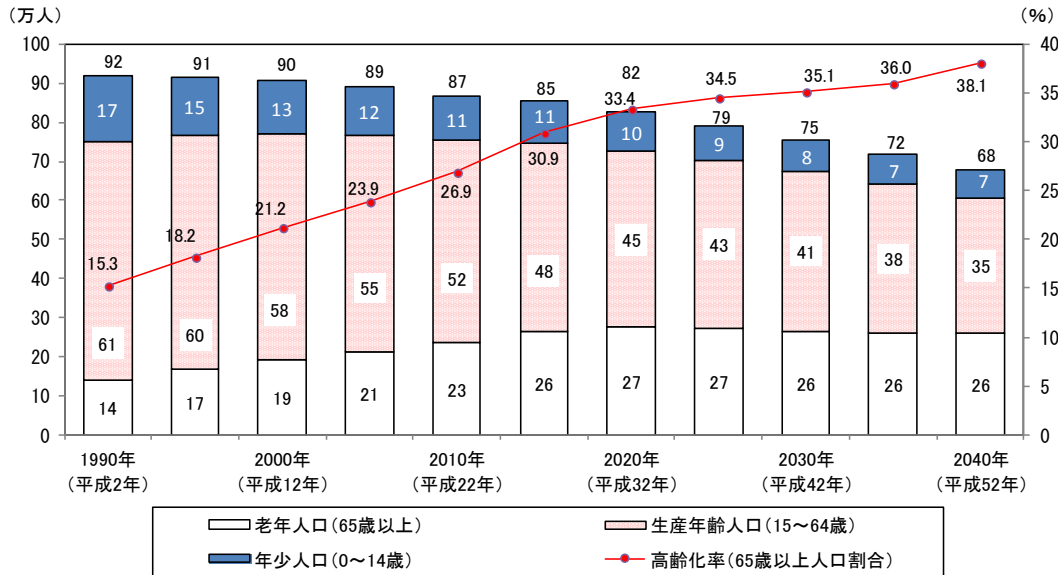
福山市と構成市町は、これまで以上に連携を強化し、圏域が一体的に発展していく必要性を相互に認識するとともに、共通課題の解決を始め、産学金官民の連携を深めていかなければならない。未来に向かって「経済成長へのチャレンジ」と「心豊かな暮らし」という2つの視点を掲げ、それぞれの市町の独自性と個性を生かす中で、人口減少といった逆境を乗り越え、この備後圏域の連携中枢都市として、「豊かさが実感でき、いつまでも住み続けたい備後圏域」の実現に邁進していくことを、ここに宣言する。

2015年（平成27年）2月24日

福山市長 羽田 皓

■ 備後圏域の人口及び産業等の状況、連携する取組について

1 圏域の現在の人口と将来推計人口



(注) 高齢化率の算出方法 高齢化率 (%) = 高齢者人口 (65歳以上) ÷ (総人口 - 年齢不詳人口) × 100
 (資料) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成25年3月推計)

2 圏域の産業動向及び都市機能集積状況等

(1) 産業関係

① 製造業事業所数の推移

(単位：所)

	2006年 (平成18年)	2007年 (平成19年)	2008年 (平成20年)	2009年 (平成21年)	2010年 (平成22年)	2011年 (平成23年)	2012年 (平成24年)	2012年 -2006年
三原市	240	237	231	219	205	217	212	▲ 28
尾道市	440	441	452	429	414	481	413	▲ 27
福山市	1,466	1,467	1,516	1,376	1,347	1,425	1,297	▲ 169
府中市	306	304	303	268	259	276	254	▲ 52
世羅町	56	52	51	41	40	44	44	▲ 12
神石高原町	38	31	39	31	33	29	31	▲ 7
笠岡市	148	150	147	137	128	132	128	▲ 20
井原市	176	175	175	162	148	142	139	▲ 37
備後圏域	2,870	2,857	2,914	2,663	2,574	2,746	2,518	▲ 352

(注) 従業者数4人以上の事業所 (資料) 経済産業省「工業統計表(市区町村別)」

②製造業従業者数の推移

(単位：人)

	2006年 (平成18年)	2007年 (平成19年)	2008年 (平成20年)	2009年 (平成21年)	2010年 (平成22年)	2011年 (平成23年)	2012年 (平成24年)	2012年 -2006年
三原市	10,936	11,351	11,170	10,097	10,426	9,285	9,812	▲ 1,124
尾道市	12,754	13,567	13,655	13,799	13,619	15,222	14,196	1,442
福山市	42,724	43,559	43,359	38,808	39,230	37,939	38,032	▲ 4,692
府中市	8,385	8,531	7,966	7,153	7,160	6,911	6,927	▲ 1,458
世羅町	939	981	878	715	733	775	769	▲ 170
神石高原町	556	607	655	599	557	536	556	0
笠岡市	5,774	5,887	5,585	5,185	4,988	4,501	5,076	▲ 698
井原市	6,914	6,850	6,735	6,158	6,017	6,383	5,765	▲ 1,149
備後圏域	88,982	91,333	90,003	82,514	82,730	81,552	81,133	▲ 7,849

(注) 従業者数4人以上の事業所 (資料) 経済産業省「工業統計表(市区町村別)」

③粗付加価値額の推移

(単位：億円)

	2006年 (平成18年)	2007年 (平成19年)	2008年 (平成20年)	2009年 (平成21年)	2010年 (平成22年)	2011年 (平成23年)	2012年 (平成24年)	2012年 -2006年
三原市	1,607	1,701	2,047	1,717	1,966	1,493	1,402	▲ 205
尾道市	1,846	2,310	1,916	1,677	2,032	2,437	1,972	126
福山市	6,019	5,812	4,949	4,922	3,737	3,547	3,810	▲ 2,209
府中市	1,355	1,420	1,380	739	755	951	856	▲ 499
世羅町	57	64	58	49	50	54	48	▲ 9
神石高原町	35	36	32	35	34	29	15	▲ 20
笠岡市	736	734	637	517	670	426	555	▲ 181
井原市	955	897	801	757	778	882	789	▲ 166
備後圏域	12,610	12,975	11,820	10,413	10,022	9,819	9,447	▲ 3,163

(注) 従業者数4人以上の事業所 (資料) 経済産業省「工業統計表(市区町村別)」

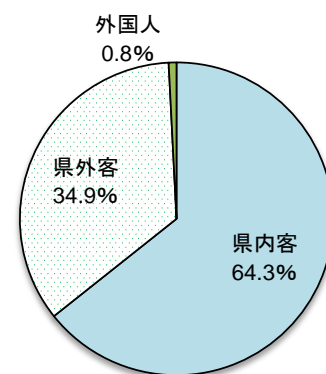
④圏域(広島県内)への出発地別観光客数及び観光客比率 2013年(平成25年)

(単位：千人)

	観光客計 ①+②+③	①県内観光客			②県外 観光客	③外国人 観光客
		市町内	その他 市町			
三原市	3,381	3,029	1,711	1,318	346	6
尾道市	6,330	2,446	1,498	948	3,791	93
福山市	6,527	4,824	3,207	1,617	1,650	53
府中市	774	564	220	344	210	0
世羅町	1,631	1,085	249	836	544	2
神石高原町	570	408	171	237	162	0
4市2町合計	19,213	12,356	7,056	5,300	6,703	154

(注) 備後圏域のうち、広島県内の4市2町の数値

(資料) 広島県「平成25〔2013〕年広島県観光客数の動向」



(2) 医療・福祉関係

①医療施設数等の状況 2013年(平成25年) (単位:施設)

	一般病院数	一般診療所数	人口千人当たり 医療施設数
三原市	11	73	0.8
尾道市	10	135	1.0
福山市	39	335	0.8
府中市	3	35	0.9
世羅町	1	10	0.6
神石高原町	1	5	0.6
笠岡市	3	43	0.8
井原市	4	28	0.7
備後圏域	72	664	0.8

(注) 人口は、総務省「平成22年国勢調査」に基づく。

(資料) 厚生労働省「平成25年医療施設(動態)調査」

②拠点病院等の状況

医療圏	医療機関	三次救急 医療	小児救急 医療拠点 (△は二次救 急輪番)	地域周産期 母子医療 センター	がん診療連 携拠点病院 (県指定含む)	災害拠点 病院
福山 ・ 府中	福山市民病院	○	△		○	○
	国立病院機構福山医療センター		△	○	○	
	公立学校共済組合中国中央病院		△		○	
	日本鋼管福山病院		△			○
尾三	尾道市立市民病院				○	
	厚生連尾道総合病院		○	○	○	○
	三原赤十字病院					○
	興生総合病院					○

(注) 地域周産期母子医療センターは2011年(平成23年)、がん診療拠点病院は2014年(平成26年)8月、災害拠点病院は2012年(平成24年)4月時点である。

(資料) 広島県「広島県保健医療計画 地域計画」、厚生労働省「平成23年医療施設(静態・動態)調査」

③救急医療体制

県	医療圏	初期救急医療機関	二次救急医療機関		
		休日夜間急患センター	病院群輪番制参加病院	協力病院当番制病院	
広島県	福山・府中	<ul style="list-style-type: none"> 福山夜間成人診療所 福山夜間小児診療所 福山市歯科医師会口腔保健センター 	<ul style="list-style-type: none"> 神原病院 公立学校共済組合中国中央病院 国立病院機構福山医療センター 山陽病院 寺岡記念病院 西福山病院 沼隈病院 脳神経センター大田記念病院 福山第一病院 三宅整形外科病院 	<ul style="list-style-type: none"> 楠本病院 セントラル病院 寺岡整形外科病院 日本鋼管福山病院 府中市市民病院 	—
	尾三	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市立夜間救急診療所 三原市医師会休日夜間急患診療所 	<ul style="list-style-type: none"> 因島総合病院 尾道市立公立みつぎ総合病院 厚生連尾道総合病院 公立世羅中央病院 興生総合病院 三原赤十字病院 	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市立市民病院 土肥病院 	—
岡山県	県南西部	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 笠岡市立市民病院 笠岡第一病院 井原市立井原市民病院

(注) 備後圏域の救急医療体制は2014年(平成26年)12月末時点である。

(資料) 広島県「広島県保健医療計画(第6次)」、岡山県「第6次岡山県保健医療計画」

④圏域の介護老人福祉施設等の状況

	2009年 (平成21年)	2010年 (平成22年)	2011年 (平成23年)	2012年 (平成24年)	2013年 (平成25年)
施設数	53施設	51施設	50施設	48施設	52施設
定員	3,309人	3,209人	3,153人	2,951人	3,336人
常勤換算従事者数	2,158人	2,173人	2,122人	1,935人	2,209人

(資料) 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

⑤圏域の障がい者支援施設等の状況

	2008年 (平成20年)	2009年 (平成21年)	2010年 (平成22年)	2011年 (平成23年)	2012年 (平成24年)
施設数	30施設	33施設	31施設	35施設	34施設
障がい者支援施設等在在者数	350人	854人	959人	838人	940人

(資料) 厚生労働省「社会福祉施設等調査」

⑥子ども発達支援センターの利用状況

(単位:人)

	三原市	尾道市	福山市	府中市	世羅町	神石高原町	笠岡市	井原市	備後圏域
2012年度 (平成24年度)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	782 (92.7%)	15 (1.8%)	21 (2.4%)	0 (0.0%)	19 (2.3%)	5 (0.6%)	844 (100.0%)
2013年度 (平成25年度)	6 (0.2%)	37 (1.3%)	2,687 (91.3%)	117 (4.0%)	48 (1.6%)	3 (0.1%)	20 (0.7%)	23 (0.8%)	2,941 (100.0%)

(注) 2012年(平成24年)10月22日相談開始、2012年(平成24年)11月1日診療開始

(資料) 福山市資料

⑦合計特殊出生率の推移

	1983年 ～1987年	1988年 ～1992年	1993年 ～1997年	1998年 ～2002年	2003年 ～2007年	2008年 ～2012年
三原市	1.85	1.62	1.54	1.48	1.42	1.56
尾道市	1.78	1.59	1.50	1.42	1.42	1.53
福山市	1.92	1.71	1.59	1.53	1.51	1.71
府中市	1.90	1.71	1.63	1.53	1.47	1.55
世羅町	2.19	1.92	1.82	1.50	1.72	1.74
神石高原町	2.04	1.90	1.69	1.58	1.59	1.87
笠岡市	1.88	1.67	1.56	1.40	1.32	1.31
井原市	1.96	1.81	1.64	1.56	1.43	1.46
備後圏域	1.94	1.74	1.62	1.50	1.49	1.59

(注) 市町村合併以前の数値については、現在の市町村単位で遡及した数値が公表されていない。このため合併時点で人口が最も多い旧自治体の数値を用いている。また、備後圏域の合計特殊出生率は、各市町別の数値の単純平均である。

(資料) 厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」

⑧保育所・幼稚園数の状況

	2012年(平成24年)					2013年(平成25年)			
	保育所数 ① (所)	保育所 児童数 ② (人)	保育所1か所 当たり児童数 ③ (人/所)	人口1万人 当たりの 保育所数④ (所/万人)	保育所入所 待機児童数 ⑤ (人)	幼稚園数 ⑥ (園)	幼稚園 園児数 ⑦ (人)	幼稚園1か所 当たり園児数 ⑧ (人/園)	人口1万人 当たりの 幼稚園数⑨ (園/万人)
三原市	23	1,380	60	2.3	0	22	1,201	55	2.2
尾道市	28	1,689	60	1.9	0	29	1,479	51	2.0
福山市	115	12,652	110	2.5	0	53	4,677	88	1.1
府中市	12	1,167	97	2.8	0	1	66	66	0.2
世羅町	4	348	87	2.3	0	2	133	67	1.1
神石高原町	5	186	37	4.8	0	1	29	29	1.0
笠岡市	15	1,001	67	2.8	0	15	285	19	2.8
井原市	9	827	92	2.0	0	15	372	25	3.4
備後圏域	211	19,250	91	2.4	0	138	8,242	60	1.6

(注) ④、⑨の人口は総務省「平成22年国勢調査」に基づく。

(資料) 厚生労働省「平成24年社会福祉施設等調査」、広島県「学校基本調査(平成25年度(2013年度))」、岡山県「平成25年度学校基本調査結果【確報】(岡山県分)」

(3) 教育・文化

①大学と大学院等の学生数 2014年(平成26年)

大学	学部・学科	学生数(人)	大学院	学科	学生数(人)			
					修士課程	博士課程	合計	
県立広島大学 (三原キャンパス)	保健福祉学部	790	県立広島大学 (三原キャンパス)	保健福祉学専攻	54	—	54	
	(合計)	790		(合計)	54	0	54	
尾道市立大学	経済情報学部	876	尾道市立大学	経済情報研究科	8	—	8	
	芸術文化学部	451		日本文学研究科	5	—	5	
	(合計)	1,327		美術研究科	22	—	22	
		(合計)		35	0	35		
福山市立大学	教育学部	410	福山市立大学	教育学研究科	(8)	—	(8)	
	都市経営学部	633		都市経営学研究科	(8)	—	(8)	
(合計)	1,043	(合計)		0	0	0		
福山大学	経済学部	794	福山大学	経済学研究科	21	—	21	
	人間文化学部	380		人間科学研究科	10	—	10	
	工学部	540		工学研究科	4	1	5	
	生命工学部	751		工学研究科(生命工学系)	14	1	15	
	薬学部	722		薬学研究科	2	—	2	
	(合計)	3,187		(合計)	51	2	53	
福山平成大学	経営学部	142		福山平成大学	経営学	3	—	3
	福祉健康学部	733			スポーツ健康科学	3	—	3
	看護学部	383	看護学		10	—	10	
	(合計)	1,258	(合計)		16	0	16	
中国職業能力開発 大学校附属福 山職業能力開発 短期大学校	生産技術科	47	5大学合計		156	2	158	
	電気エネルギー 制御科	40						
	電子情報技術科	57						
	(合計)	144						
5大学・1短期大学校合計		7,749						

(注) 福山市立大学は2015年(平成27年)4月から大学院が開設されるため、定員数を括弧書きしている。

博士課程欄が「—」の学科には、博士課程が設けられていない。

(資料) 各大学HP、学校案内、大学ヒアリング

②図書館・博物館・スポーツ施設等の設置状況 2011年(平成23年)

	図書館・博物館等				スポーツ施設			
	人口10万人 当たり図書 館数 (館)	人口10万人 当たり博物 館数 (館)	人口10万人当 たり博物館類 似施設数 (施設)	人口10万人当 たり文化会館 数 (施設)	社会体育 施設数 (施設)	人口1万人当 たり社会体育 施設数 (施設)	民間体育 施設数 (施設)	人口1万人当 たり民間体育 施設数 (施設)
三原市	4.0	0.0	3.0	2.0	36	3.6	11	1.1
尾道市	3.4	2.1	6.2	4.1	75	5.2	2	0.1
福山市	1.5	1.7	1.3	0.9	87	1.9	25	0.5
府中市	4.7	0.0	4.7	2.3	39	9.2	1	0.2
世羅町	17.1	0.0	17.1	5.7	56	31.9	11	6.3
神石高原町	9.7	0.0	19.3	9.7	30	29.0	6	5.8
笠岡市	1.8	1.8	3.7	1.8	31	5.7	6	1.1
井原市	6.8	4.6	15.9	2.3	23	5.2	6	1.4
備後圏域	3.0	1.6	3.9	1.9	377	4.3	68	0.8

(注) 人口は、総務省「平成22年国勢調査」に基づく。

(資料) 文部科学省「平成23年度社会教育調査」

③文化・スポーツの主な施設の利用状況 2013年度（平成25年度）

（単位：人）

市町名	美術館・博物館		文化ホール		スポーツ施設	
	施設名	利用人数	施設名	利用人数	施設名	利用人数
三原市	三原市歴史民俗資料館	12,109	三原市芸術文化センターホホロ	59,456	三原リージョンプラザ	162,210
	三原市久井歴史民俗資料館	201	三原リージョンプラザ	52,803	三原運動公園	120,328
	—	—	本郷生涯学習センター	27,816	白竜湖スポーツ村公園	51,483
尾道市	耕三寺博物館	106,561	しまなみ交流館	65,996	びんご運動公園	725,478
	平山郁夫美術館	59,124	尾道市公会堂	34,863	向島運動公園	112,712
	おのみち映画資料館	19,935	尾道市民センターむかいしま文化ホール	18,339	長者原スポーツセンター	75,665
福山市	ふくやま美術館	154,589	ふくやま芸術文化ホール	326,097	竹ヶ端運動公園	269,033
	福山城博物館	63,389	広島県立ふくやま産業交流館	156,904	緑町公園屋内競技場	157,921
	広島県立歴史博物館	56,925	神辺文化会館	92,582	福山市体育館	69,317
府中市	—	—	府中市文化センター	129,405	府中市立総合体育館	96,033
	—	—	—	—	府中市 B&G 海洋センター	44,689
	—	—	—	—	府中市中須グラウンド	19,540
世羅町	大田庄歴史館	2,195	せら文化センター	50,650	西大田体育館	7,905
	世羅郷土民俗資料館	37	せらにしめんセンター	23,392	伊尾体育館	2,859
	—	—	—	—	宇津戸体育館	1,859
神石高原町	—	—	さんわ総合センターやまなみ文化ホール	7,854	油木体育館	12,278
	—	—	—	—	三和野球場	2,546
	—	—	—	—	—	—
笠岡市	カトガニ博物館	54,297	笠岡市民会館	72,000	笠岡総合体育館	64,251
	竹喬美術館	11,775	—	—	市民体育センター	58,633
	—	—	—	—	笠岡運動公園	42,698
井原市	田中美術館	26,463	アケイブライフ井原	1,285,443	井原運動公園	81,730
	華鶴大塚美術館	8,706	井原市民会館	66,305	井原市 B&G 井原海洋センタープール	68,221
	古代まほろば館	3,762	芳井生涯学習センター	18,689	井原市井原体育館	62,557

（資料）各市町資料

（４）公共交通等

①鉄道の主要駅の利用状況

2013年度（平成25年度）

駅名	普通乗車人数（人）	定期乗車人数（人）	合計人数（人）	
JR西日本	三原駅	899,079	1,417,594	2,316,673
	尾道駅	741,604	1,317,395	2,058,999
	新尾道駅	209,237	158,382	367,619
	福山駅	3,614,052	3,683,701	7,297,753
	府中駅	79,049	252,554	331,603
	備後三河駅	593	8,254	8,847
	笠岡駅	446,774	921,783	1,368,557
井原鉄道	神辺駅	52,195	63,510	115,705
	井原駅	74,825	70,810	145,635

（資料）西日本旅客鉄道株式会社、井原鉄道株式会社

②広島空港の航路別利用状況

2013年度（平成25年度）

路線		搭乗者数（人）	路線		搭乗者数（人）
国内旅客	東京	1,930,528	国際旅客	ソウル	81,597
	成田	60,945		大連・北京	38,036
	札幌（新千歳）	151,120		上海・成都	67,021
	仙台	62,787		台北	89,640
	沖縄（那覇）	129,353		グアム	16,078
	その他国内	64		その他海外	12,073
国内旅客合計		2,334,797	国際旅客合計		304,445
旅客合計 2,639,242					

（資料）広島県土木局空港振興課資料

（5）その他

①救急活動における出動件数・搬送人員状況

2013年（平成25年）

市町名	出動件数（件）	搬送人員（人）
三原市	4,922	4,582
尾道市	6,982	6,512
福山市	18,901	17,619
府中市	1,588	1,503
世羅町	719	685
神石高原町	458	444
笠岡市	2,473	2,323
井原市	2,031	1,935

（資料）各市町資料

〔参考〕地域資源（ポテンシャル）

分野	主な観光資源	分野	主なスポーツ資源
歴史・文化	鞆の浦（福山市）、尾道（尾道市）、草戸千軒町遺跡（福山市）、備後国府（府中市）、中国地方の子守唄の発祥地（井原市）	高校生	駅伝（世羅高校：世羅町、興譲館高校：井原市） 野球（如水館高校：三原市） ラグビー（尾道高校：尾道市） 男子新体操（井原高校：井原市）
自然	鞆の浦（瀬戸内海国立公園：福山市）、帝釈峡（国立公園：神石高原町）、星空（日本三選星名所：井原市）、花畑の集積（世羅町）	大学生	野球・サッカー（福山大学）
産業（見学可能）	産業観光（製鉄、リサイクル関連〔福山市〕、府中家具、作業服、味噌〔府中市〕、植物発酵食品〔尾道市〕）	施設	芦田川漕艇場（A級2,000m：福山市） グラウンドゴルフ場（福山市）
イベント等	福山ばら祭、観光鯛網（福山市）、神明市（だるま市）（三原市）、尾道みなと祭、因島水軍まつり（尾道市）	イベント	ゴルフミズノオープン（笠岡市、福山市） トライアスロン大会（三原市佐木島）
その他	しまなみ海道、サイクリングロード、千光寺公園（尾道市）、福山市立動物園（福山市）、笠岡市立カプトガニ博物館（笠岡市）、美星天文台（井原市）	分野	その他の資源
		健康	○森林セラピー 森林浴効果が科学的に実証された「森林セラピー基地」に認定（神石高原町）
		食	○瀬戸内の小魚（笠岡市、福山市、尾道市、三原市） ○レモンなど柑橘類（尾道市ほか） ○フルーツ（世羅町ほか） ○ご当地グルメ（府中焼〔お好み焼き〕、尾道ラーメン、笠岡ラーメン、福山うずみごはん、たこせんべい〔三原市〕、世羅ワイン、神石牛〔神石高原町〕、乳製品〔井原市〕）

3 福山市(連携中枢都市)と構成市町との連携が想定される取組

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

- ①圏域全体の産業振興の仕組みづくり
 - ア 成長戦略のフォローアップ
 - イ 備後圏域産業連関表の作成・活用
 - ウ 産業支援拠点機能の充実
- ②中小企業事業者等への支援
 - ア 中小企業事業者のイノベーション等の推進
 - イ 女性の創業支援
 - ウ 地域の産業集積による競争力向上
 - エ 雇用対策
- ③第一次産業の活性化
 - ア 6次産業化の推進
 - イ 第一次産業振興のための環境整備
- ④戦略的な観光振興
 - ア 戦略的な観光振興

(2) 高次の都市機能の集積・強化

- ①高度医療の充実や強化
 - ア 高度な医療サービスの提供
- ②広域的な都市基盤の整備
 - ア 広域的な都市基盤の整備
- ③高等教育機能の充実や強化
 - ア 次世代の人材育成に向けた高等教育の充実

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ①医療や福祉サービスの充実
 - ア 地域医療の充実
 - イ 高齢者や障がい者等の福祉の充実
 - ウ 子育て支援の充実
 - エ 健康づくりの推進
- ②広域化による住民サービスの向上
 - ア 災害に関する安心・安全の確保
 - イ 環境に配慮した循環型社会の構築
 - ウ 行政サービスの向上
- ③地域活性化の推進
 - ア 農林水産物を活用した地域活性化
 - イ 公共交通体系とデマンド交通の検討
 - ウ 大学を活用した地域活性化
- ④定住促進
 - ア 備後圏域定住促進事業
- ⑤圏域マネジメント能力の強化
 - ア 人材の育成と人材ネットワークの構築

4 福山市(連携中枢都市)に対して従業又は通学する就業者数及び通学者数を、常住する就業者数及び通学者数で除して得た数値(通勤通学割合)が0.1以上である市町の名称並びに福山市の近隣にあって、福山市と連携の意思を有する市町の名称

(単位：人)

市町名	常住する就業者・通学者		福山市への通勤・通学者 ③	通勤・通学割合 ④	
	①	うち自宅で 従業等 ②			
広島県	三原市	50,308	4,845	1,493	0.033
	尾道市	72,672	8,723	7,438	0.116
	府中市	21,372	2,621	4,702	0.251
	世羅町	9,316	1,905	161	0.022
	神石高原町	5,504	1,844	489	0.134
岡山県	笠岡市	25,372	2,318	4,863	0.211
	井原市	22,111	2,961	2,921	0.153
	里庄町	5,480	390	526	0.103

(注) ④通勤・通学割合=③÷(①-②)

(資料) 総務省「平成22年国勢調査」

・連携の意思を有する市町

(広島県) 三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町

(岡山県) 笠岡市、井原市

※下線：通勤・通学割合が0.1以上